



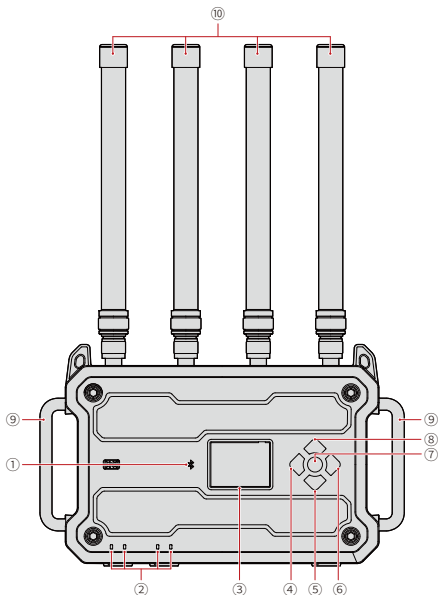
Solidcom C1 Pro - ローミングハブ

操作マニュアル

V1.0

はじめに

Solidcom C1 Pro - ローミングハブをお買い上げいただきありがとうございます。本製品を使用することで、撮影現場でのコミュニケーションが容易になります。本操作マニュアルでは、製品を使い始める方法について説明いたします。



① Bluetooth インジケータ

② IP インジケータ

③ 表示画面

④ 左ボタン

⑤ 下ボタン

⑥ 右ボタン

⑦ メニュー / 確定ボタン

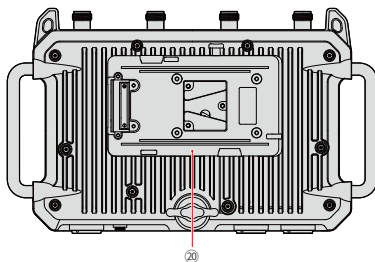
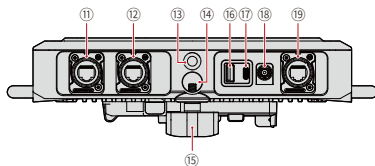
(長押ししてメニューに移動し、押し
て確定します)

⑧ 上ボタン

⑨ ハンドル

⑩ RF アンテナ

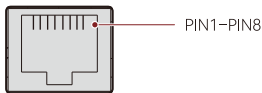
製品概要



- ⑪ RJ45 ポート 1
- ⑫ RJ45 ポート 2
- ⑬ 3/8 インチネジ穴
- ⑭ 5/8 インチマウント穴
- ⑮ リミットノブ
- ⑯ USB-A ポート (ヘッドセットのペアリング用)
- ⑰ USB-C ポート (UAC オーディオ用)
- ⑱ DC 入力ポート
- ⑲ RJ45 ポート 3 (4 線式)
- ⑳ V/G マウントバッテリープレート

ピン配列の概要

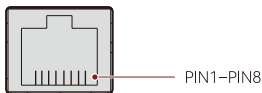
RJ45 1/2 ピン配列



RJ45

標準ピン配列			
ピン 1	送受信データ+	ピン 5	接続なし
ピン 2	送受信データ-	ピン 6	データ受信-
ピン 3	データ受信+	ピン 7	接続なし
ピン 4	接続なし	ピン 8	接続なし

RJ45 3 ピン配列

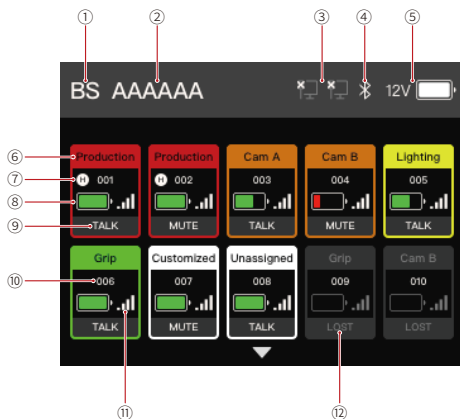


4 線式

標準ピン配列			
ピン 1	GND	ピン 5	AUDIO OUT-
ピン 2	GND	ピン 6	AUDIO IN-
ピン 3	AUDIO IN+	ピン 7	GND
ピン 4	AUDIO OUT+	ピン 8	GND

クロスオーバーピン配列			
ピン 1	GND	ピン 5	AUDIO IN-
ピン 2	GND	ピン 6	AUDIO OUT-
ピン 3	AUDIO OUT+	ピン 7	GND
ピン 4	AUDIO IN+	ピン 8	GND

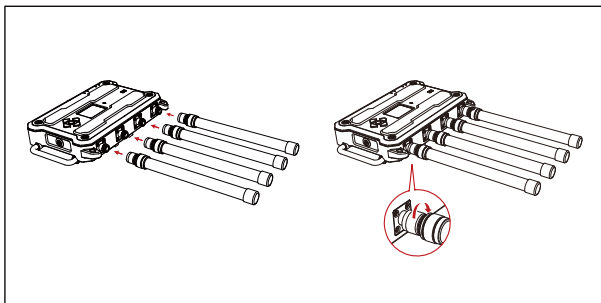
ホームページの紹介



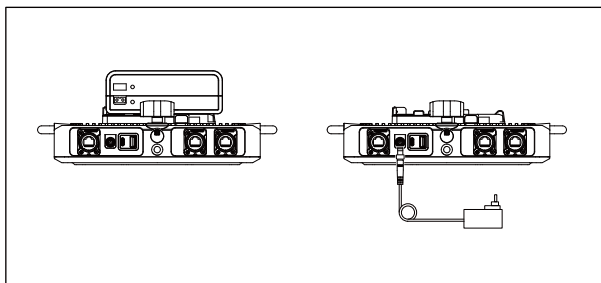
- ① ハブ ID
- ② ハブ名
- ③ ハブの接続状態 (PC 接続 / IP 接続)
- ④ Bluetooth の状態 (白: オン、灰色: オフ)
- ⑤ 電源電圧とバッテリー残量
- ⑥ ヘッドセットの役割
- ⑦ ヘッドインジケータ
- ⑧ ヘッドセットのバッテリー残量
- ⑨ ヘッドセットの通話 / ミュート / 通信不通状態
- ⑩ ヘッドセット番号
- ⑪ 信号強度
- ⑫ 未接続のヘッドセット

製品の取り付け

1. 図示のようにアンテナを取り付けます。

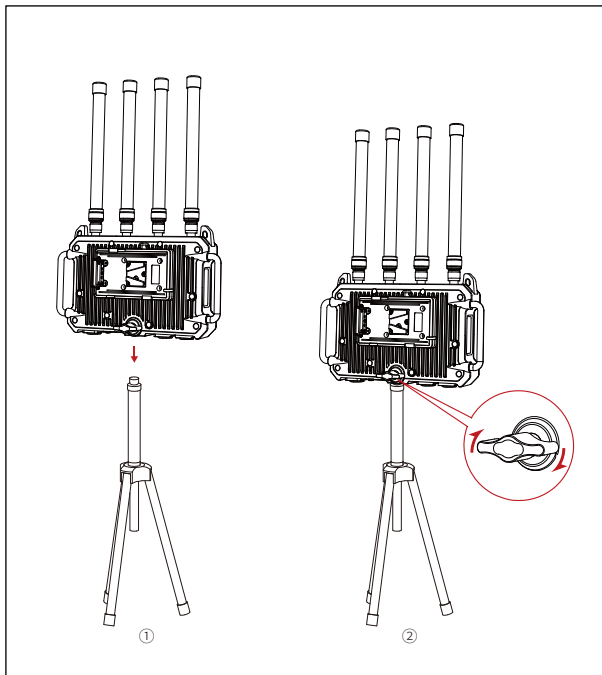


2. バッテリーを入れるか、電源アダプターを接続します。



製品の取り付け

3. 三脚にハブを取り付け、固定します。

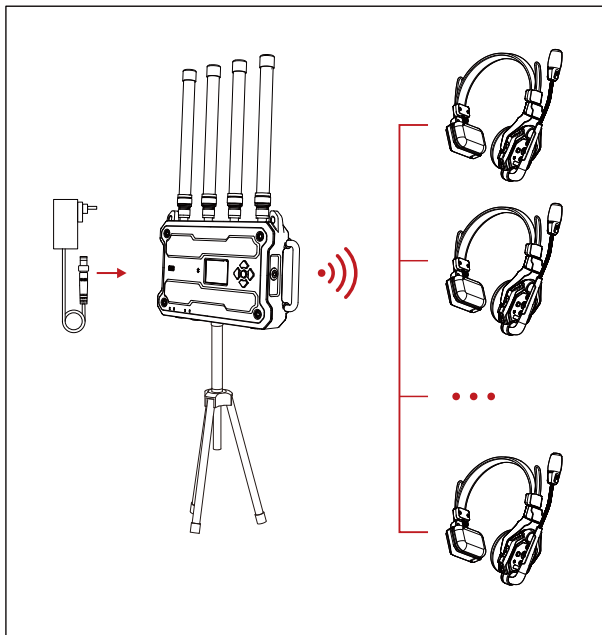


製品接続

■ 単一ハブ接続

条件 1

Solidcom C1 Pro - ローミングハブパッケージに梱包されているヘッドセットの場合、既に工場でハブとヘッドセットがペアリングされているため、電源を入れると直ちに使用できます。

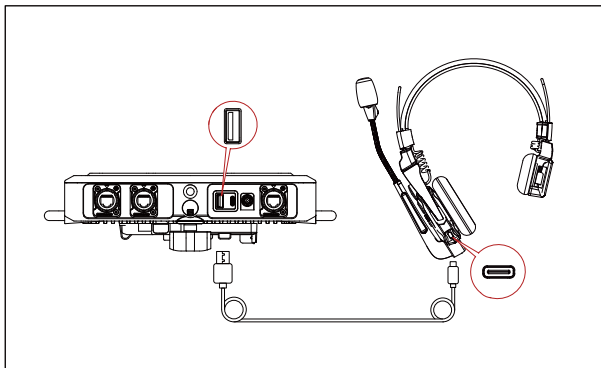


製品接続

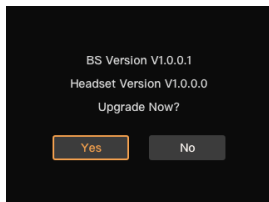
条件 2

以前に購入した Solidcom C1 および Solidcom C1 Pro ヘッドセットの場合、使用する前に、手動でハブとヘッドセットをペアリングする必要があります。以下にペアリングの手順を示します。

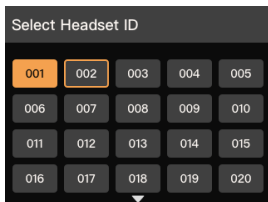
1. ハブとヘッドセットの電源を入れ、USB-A 対 USB-C 変換ケーブルで接続します。



2. ファームウェアバージョンが一致していないことを示すポップアップウィンドウが表示されます。Yes を選択し、ヘッドセットをアップグレードします。



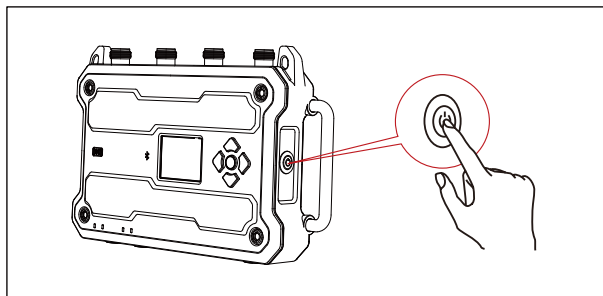
- アップグレードが完了すると、ハブに、ペアリングしたいヘッドセットに番号を割り当てるよう指示したポップアップウィンドウが表示されます。黄色の番号は使用中であるため選択できませんが灰色の番号は選択できます適宜番号を選択し、**Confirm** を選択して、ペアリングプロセスを完了します。



デュアルハブカスケード接続

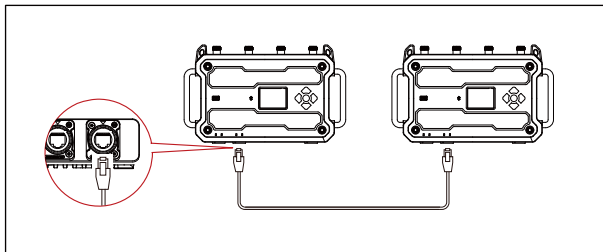
RJ45 ポート経由でカスケード接続した2台のハブの信号エリア全体で、ヘッドセットが確実に接続状態を維持できるように、カスケード接続の信頼性を高めるため、以下の手順に厳密に従ってください。

1. ハブをカスケード接続する前に使用したいすべてのヘッドセットとハブの電源を入れます。カスケード接続が確立されるまで、全部のヘッドセットで電源が入っていることを確認します。



製品接続

2. ヘッドセットが各ハブに正しく接続されると、すべてのヘッドセットで、インジケータの点滅が停止して、点灯状態に変化します。すると、図示のように、イーサネットケーブルでハブを接続することができます。

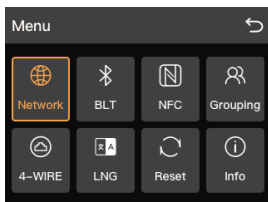


注意：ハブをカスケード接続する前に、すべてのヘッドセットの電源が入っており、それぞれ対応するハブに接続されていることを確認します。

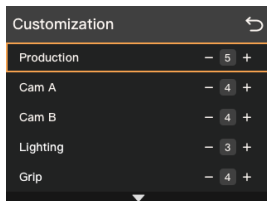
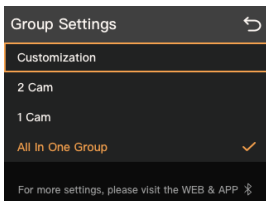
■ ハブのグループ設定

ハブは、6組のグループの通話と役割の割り当てに対応しています。各ヘッドセットに個別の役割を割り当てると、ハブまたはウェブページまたはアプリを通じて各タイプのパラメータが設定できるため、手動でヘッドセットのパラメータを設定する必要がありません。以下の手順でハブでグループを設定します。

1. ハブでメニューボタンを長押しし、Menu インターフェイスに移動します。



2. Grouping を選択し、Group Settings インターフェイスに移動します。Customization を選択し、役割ごとに番号をカスタマイズします。



操作

3. ハブには計 10 個の役割がプリセットできます。Production (ヘッド/メンバー)、Cam A (カメラマングループ A ヘッド/メンバー)、Cam B (カメラマングループ B ヘッド/メンバー)、Lighting (ヘッド/メンバー)、Grip (機器チームメンバー/メンバー)。下表に各役割のグループと、それに対応するボタン (A/B) を示します。

役割	Group 1	Group 2	Group 3	Group 4	Group 5	Group 6
Production (ヘッド)	A					
Production (メンバー)	A					
Cam A (ヘッド)	A	B				
Cam A (メンバー)		B				
Cam B (ヘッド)	A		B			
Cam B (メンバー)			B			
Lighting (ヘッド)	A			B		
Lighting (メンバー)				B		
Grip (ヘッド)	A				B	
Grip (メンバー)					B	

4. 実際のニーズに応じて役割ごとに台数を調整し、Auto-Gen を選択して設定を保存し、ヘッドセットに適用します。たとえば、Production の番号を 5 と設定すると、Production に、ヘッドセット 1～5 が割り当てられます。Cam A の番号を 4 と設定すると、Cam A に、ヘッドセット 6～9 が割り当てられます (以下同様)。
5. ヘッドセットを各担当者に配分し、撮影作業を開始します。

■ アプリでのハブの設定

1. Solidcom アプリをダウンロードします。

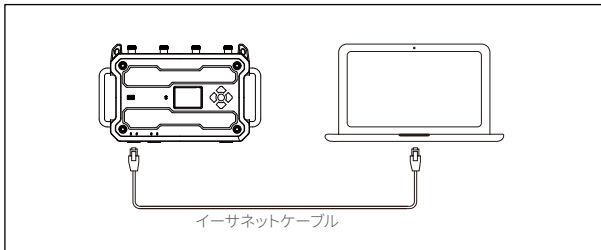


2. スマートフォンで Bluetooth を起動し、HLD で始まるデバイスを検索し、それをクリックして接続します。
3. Solidcom アプリを起動し、ソフトウェアが完全に読み込まれるまで待ち、**Connect** をタップしてハブの設定を開始します。

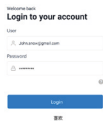
■ ハブのアップグレード

注意:ファームウェアのアップグレードファイルは Hollyland 公式サイトから入手できます。
Hollyland オンラインテクニカルエンジニアにご連絡いただいても入手できます。

1. 標準 RJ45 イーサネットケーブルで、ハブとコンピュータを接続します。



2. コンピュータの IPv4 情報がハブと同じサブネットになるように設定し、デフォルトブラウザを開き、ハブの IP アドレスを入力してログインページに移動します。



3. デフォルトのユーザー名 admin とパスワード 12345678、またはカスタムユーザー名とパスワードを入力してログインし、**Other > Settings** とクリックしてアップグレード ページに移動し、ファームウェアファイルをアップロードし、**Upgrade** をクリックすると、アップグレードプロセスが始まります。

仕様

	ハブ
見通し範囲	1,600 フィート (500m)
動作周波数	1904 ~ 1919 MHz: 中国 1880 ~ 1900 MHz: ヨーロッパ、南アフリカ、アジアの大部分、香港特別行政区、オーストラリア、ニュージーランド (10 チャンネル) 1880 ~ 1895 MHz: 台湾 (8 チャンネル) 1893 ~ 1906 MHz: 日本 (J-DECT) 1910 ~ 1920 MHz: ブラジル (10 チャンネル) 1910 ~ 1930 MHz: ブラジルを除く中南米の大部分。 1920 ~ 1930 MHz: アメリカ合衆国とカナダ
送信電力	21 dBm 以下
帯域幅	1.728 MHz
変調モード	GFSK
周波数特性	100 Hz ~ 7 kHz (± 3dB) @1 kHz
受信機感度	-90dBm 以下
信号対雑音比	55dB 以上
アンテナゲイン	4 dBi (全方向)
DC 電圧範囲	7 ~ 30V, 1A 未満 @12V
V/G マウントバッテリー電圧範囲	11 ~ 30V, 1A 未満 @12V
消費電力	1A 未満 @12V
寸法	302mm × 181.52mm × 63.6mm
重量	1797.5g (63.4 オンス)
温度範囲	-10 ~ 45°C (動作時) -20 ~ 60°C (保管時)

安全上のご注意

バッテリーの過熱や爆発を防ぐため、本機を加熱装置（電子レンジ、IH調理器、オープンレンジ、電気ヒーター、電気圧力鍋、給湯器、ガスコンロを含むがこれらに限定されない）の近くまたは内部に置かないでください。本製品に同梱されている充電器、データケーブル、バッテリーを使用してください。非正規または互換性のない充電器、データケーブル、バッテリーを使用すると、感電・火災・爆発など、危険な状況が発生する恐れがあります。

サポート

製品の使用中に何か問題や助けが必要な場合は、下記のHollylandサポートチームにご連絡ください:

 Hollyland User Group

 HollylandTech

 HollylandTech

 HollylandTech

 support@hollyland.com

 www.hollyland.com

宣言文

すべての著作権は、Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.に帰属します。

商標に関する宣言文

Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.の書面による許可がない限り、いかなる組織または個人も、本文の内容の一部または全部をコピー・転載したり、いかなる形式でもこの文書の内容を伝えることはできません。

注意:

製品のバージョンアップグレードなどの理由により、この操作マニュアルは随時更新されます。本書は、特段の合意がない限り、使用上の手引きとしてのみ提供されるものです。本書に記載されているすべての表現、情報、推奨事項は、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証を行うものではありません。

HOLLYVIEW

Powered by Hollyland

Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.

8F, 5D Building, Skyworth Innovation Valley,
Tangtou Road, Shiyan Street, Baoan District, Shenzhen, 518108, China

MADE IN CHINA